

☆き ら り☆

令和4年9月21日(水) No.26



《めざす子ども像》

○かしこい子

○やさしい子

○元気な子

— 役に立つ喜びを知る子 —

校長：須藤 美香 Tel：0880-24-0006

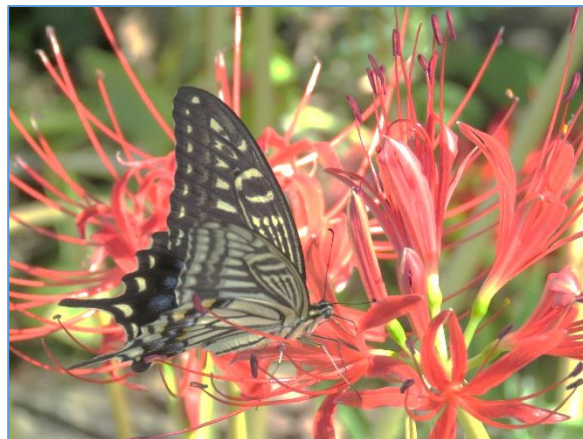
9月の生活目標：気持ちのよいあいさつをしよう

台風一過 ～一気に秋らしく・・・～

日本列島に大きな爪痕を残した台風14号。被害はありませんでしたか？まもなく稲刈りを予定していたお家もあったのではないかと思います。また、子ども達から、停電になっていた話も聞きました。長時間にわたり強風が続き、本当に怖かったですね。学校は、ピオトープや校庭東側のせんだんの木が強風のため折れてしまうなどの被害がありました。



台風の通過と共に一気に秋めいてきました。空は秋雲に変わり彼岸花があちらこちらで咲き始めました。朝晩は急に寒くなり、長袖で登校する子どももいます。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がぴったりです。日中の温度差が大きいため、体調を崩しやすい時期です。睡眠と食事をしっかりとって元気に過ごしてほしいと思います。



9月参観日のご案内

明日は2学期最初の参観日です。平日のためお忙しいことと思いますが、講演、懇談会もありますのでどうぞお越しください。よろしくお願いします。

日 時：9月22日(木) 13:25～16:30

内 容：(1) 授業参観・・・13:25～14:10【各教室】

(2) 講 演・・・14:20～15:20【体育館】

講師：児童家庭支援センター 高知ふれんどセンター長

谷本 恭子 氏

演題：『子どもたちの未来のために、わたしたちができること』

(3) 学級懇談・・・15:30～16:30

東又祭りに向けての話し合いもされると思います。

◇お家からの検温、マスクの着用、授業中は静かに参観等のご協力をよろしくお願いします。

神戸学院大学生による防災授業！

9月14日（水）神戸学院大学現代社会学部社会防災科の学生11名と防災学習アドバイザー・コラボレーターもされている諏訪清二先生が国内実習のため来校しました。低学年（1・2年生）中学年（3・4年生）高学年（5・6年生）に分かれ、それぞれ発達段階に合わせた授業をしてくださいました。

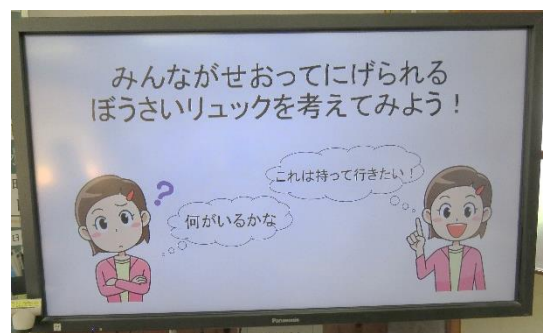
低学年

まず始めに、自己紹介をしてくださいました。大学の場所を説明するために「日本地図を提示し「兵庫県はどこでしょう？」と質問すると、元気よく手をあげ、指名された子どもが次々と地図を指しに行きました。高知県も良く分からない1・2年生にとって、若干ハードルが高い質問でしたが、何とか大樹さんが兵庫県を見つけることができました！授業では、「危ないことを知らせる音を知ろう」という課題で、緊急地震速報などの警報音・通知音などがどのように聞こえるか、その時どんな動きをするかなど学習していました。



中学年

「津波が来た！避難所で3日間過ごすのに、必要な物は？」なぜ、防災グッズがいるか？」を考える授業でした。地震が起きてから、荷物をまとめていたら間に合わないこと、必要な物はまとめて置くことの大切さも分かりました。また、背負って逃げれる重さも体感し、何を持っていくか一人一人がしっかりと考えていました。



高学年

「学校にいる時地震が起きた時を想像し、その場所で地震が起きたらどうするか」を考える授業でした。図書室と理科室を想定して、危険なところについて一人2枚の付箋に記入し、それぞれの場所の図面に貼りグループごと話し合いをしました。普段気付かなかった危険なところについても話し合うことで、これからどうしたらいいか考えることができました。



【学生さんに授業をしての感想を聞きました】

- ◆子どもが積極的に手を挙げてくれて、とっても可愛かったです。
- ◆時間配分が難しかったけど、話し合いが盛り上がってくれてうれしかった。
- ◆反応が良かった。「図書室を後で見よう。」と言ってくれたのがうれしかった。
- ◆よく学校のことを見ていると思った。

黙食でしたが、全学年に入り一緒に給食を！

